

## 2023 年度春季大会報告

### チャレンジ支援委員会「わかばさんいらっしやい」報告書

チャレンジ支援委員：黒田、家根橋、天野、中島、吉川

2023 年 5 月 27 日(土) 12:00-13:00 オンライン開催

「わかばさんいらっしやい」は本大会1日目の12:00-13:00にオンラインで開催されました。初めて大会に参加する「わかばさん」を主な対象として、初参加の不安を取り除き、大会を楽しむコツを押さえ、「わかばさん」同士のネットワークを築く機会の提供を目指しました。

5月上旬からYouTubeで「わかばさん」向けのオリエンテーション動画を公開し、大会の概要、参加登録の方法、視聴する発表の選び方、予稿集の活用、質問の方法などについて、「わかばさん」に紹介しました。動画は大会終了までに276回再生されました。

大会当日の「わかばさんいらっしやい」には、日本語教育に携わり始めたばかりの方や、大会参加が初めての方、研究を始めたばかりの方など、11名の「わかばさん」の参加がありました。まず、事前動画の内容を簡潔に復習した後に、質疑応答の時間を設けました。

その後、参加者3~4名からなるグループに分け、「わかばさん交流会」を実施しました。約40分の間で、各参加者の本大会への参加目的、一番聞きたい発表、現在取り組んでいる研究テーマや教育実践上の疑問、大学院進学についての相談など多岐にわたる話題について語り合いました。今回は大学院生が多くご参加でしたが、大学院生同士のグループもそうでないグループも、参加者の間で接点を見つけて、お互いに情報交換しながら、交流することができました。

参加者による事後アンケートでは、「わかばさん交流会」については、ご回答くださった方全員から満足であったという回答をいただきました。ただ、「わかばさんいらっしやい」の前半で行った大会の説明については、事前動画と重複する部分が多いのでなくてもよいのではないかというご意見がありました。その代わりに「先輩わかばさんの学会発表体験談のようなものがあれば見たい」というご意見や、そのほかにも「わかばさん同士で連絡先を交換する時間があればよかった」といったご意見がありました。参加されるわかばさんは毎回異なるので、ご希望も多様で全てに対応することはできませんが、本企画の内容も固定化してきたため、必要な部分は残しつつ可能な範囲で要望を取り入れながらバージョンアップしていきたいと考えています。

参加者の多くは大学院生さんだったため、指導する先生からの紹介で本企画に参加して下さったのではないかと予想していましたが、アンケートにご回答くださった方は全員学会のメーリングリ



ストやウェブサイト、SNSを通じて本企画を知ったとのことでした。自ら情報を得て積極的に参加して下さるみなさんの意識の高さを感じられました。今回知り合った「わかばさん」たちが次の大会や支部集会で再会するかもしれませんし、将来的に一緒に研究や実践に取り組む仲間になるかもしれません。「わかばさん」たちにとって、本企画が日本語教育へ向かうスタートラインとなることを願っています。